中学校
支援

自分の予定を管理しよう

枚方市立枚方中学校

教科	自立活動	単元名	カレンダー機能を活用して予定を把握しよう

本時のねらい

自分に関わる予定をタブレット PC に入力し、自分の予定を把握することを学び、将来的にも予定を管理できるようになる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

タブレット PC のカレンダー機能を利用して、自分に関わる予定を入力し、自分の予定を把握する力の育成をねらった。
この活動を通して、予定の管理を自分自身で行っていく力の育成をめざし、将来的にもタブレット PC 等の ICT 機器を活用することで自分の予定を管理できるようになることをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC　　・カレンダー機能

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 （10 分）	○スケジュール管理についての話をする。 ・なぜ予定をカレンダーに入力するのだろう。 ・カレンダー機能を活用することの良いこととは何だろう。	カレンダー機能を活用することで、予定の有無だけでなく、時間軸で表記することが可能である。また、随時編集したり、リマインド機能を活用したりして、予定を忘れることを防ぐことも可能であることに気付かせる。
展開 （30 分）	○年間予定表や学年通信を見て、自分に関係ある予定を見つけ、カレンダーに入力する。 ○宿題の期限や自分自身で行っている課題の期限についても入力する。 ○入力した予定を友達に伝える。	・予定を見返したときに、わかりやすいタイトルとなるよう工夫して入力するよう伝える。また、添付資料を付けることで、予定の詳細を追加し、リマインド機能を活用することで、予定を忘れることを防ぐことができることも併せて伝える。 ・生徒が入力した予定について、友達にわかりやすく伝わるよう発表する。
まとめ （10 分）	○教室や自宅でも日常的に予定を入力する習慣をつけることで、スケジュール管理をしていくことを促す。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

写真 1 ：タブレット PC 活用に向けて、説明を聞いて、活用をイメージしている場面

写真 2 ：自分自身の予定を、カレンダーの一つひとつの項目に入力する場面

写真 3 ：質問や困っていることを友達や先生に相談している場面

児童生徒の反応や変容

・自分の予定について、友達や教職員と話をしながら楽しんで入力することができた。
・いつまでに何をするのかを自分自身で考えて期限を設定することが苦手な生徒もいるが、カレンダーへの入力を繰り返し行うことで、自分の予定に見通しを持つことができつつある。
・入力した予定は、いつでもどこでも瞬時に見直すことができるので、次に何をすべきかが明確になり、生徒の安心材料の一つとなった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

支援学級の生徒は、物事を先読みすることが苦手であったり、先のことが分からなくて不安になったり、自分が予定していなかったことをしなくてはいけない場面で混乱してしまったりする。
その生徒のために、あらかじめわかっている予定を自分で管理できるという力を身につけてほしいと思い、この活動を取り入れた。